

KEYAK!

3月号

その前にの前に

先日、年長さんと一緒に小学校見学に行ってきました。小学校の先生方もスケジュールをしっかりと考えてくださっていて感謝です。小学1年生のみなさんと園児たち、双方を見ながら校長先生とお話しをして、まず見解が一致したことは子どもたちがお互い良い緊張感を持って臨んでいるというところでした。年長さんは完全アウェイなのでもっともなのですが、ホームである1年生たちが年下の子たち相手に緊張感を持ってやってくれるなんてありがたいですし、お互い意識している姿は見ている側にも微笑ましい光景でありました。校長先生がこんなにしっかりした1年生の姿が見れるなら学期に1回くらいはやりたいたいとおっしゃってました。私も確かに面白い試みだと思います。しかしながら、もうすぐ1年生という意識を持った3学期の年長の今の姿なのかなという気もしました。

年長さんを始め、年中さんも年少さんも、子どもたちは果たして、今までの園生活の何をどのくらい覚えていて、どれくらいの印象を残したのでしょうか。その印象が記憶に残るといことは経験値・体験値として獲得していると言ってもいいと思います。忘れていたとしてもいつかどこかでふと思い出す、そんな印象ができるだけたくさん、あればあるほど人生の肥やしになっていくのだと考えます。どの学年にしても、ひとつ上にあがるとまた新しい世界の始まりです。得体の知れない不安や心配ごとは少なからずあるでしょう。そんな中で、生活にしても学習にしても、ひとつずつ、「わかる」を増やしていけたらよいと思います。

「わからない」ことはつまらなかったり飽きてしまったり不安を覚えたりするのは当然。しかしながら、子どもが自分自身のみの子カラで「わかりなさい」にはなりません。その前には大人側の適切な言葉掛けやわかりやすい指導、子どもたち同士の刺激や相互作用を求めらるなら周りに目がいくような働きかけも必要でしょう。さらにその前に、まず彼らの気持ちがその方向に向くようになっていないと頭にも入らないし集中もできないでしょう。なのでその前に、例えば環境を整える必要もあるでしょうし、そのための準備や普段のせいかつの中における関係性も大いに関連してくるはずです。だったらその前に……というように思いのめぐらせ方によって様々な膨らみ方をしていきます。これを面白がれるかどうか！

みんながイメージを持てるように、イメージを持っておくこと、か？突然の思いつきだっイメージですね。子どもたちにもイマジネーション働かせてこれからも過ごしてもらいたいと願っています。ということはその前に……。

さあ、園でもいい緊張感をホームでもてる機会、卒園式がまもなくやってきます。今までのことを思い出しながら、いろいろな想いを込み上げながら、職員一同も緊張感をしっかりもって臨むと共に、笑顔で送り出してあげたいと思っています。

今月のねらい

- ・就学・進級に期待を持ち、おもいきり園生活を楽しむ
- ・思いついたことややりたいこと、言いたいことが自由に出し合える